

3 ▶ これからの藤木鉄工を知る！ つのビジョン

年間生産量36,000t

現在の鉄骨の年間生産量は対前年比7,000tアップの32,000t。近く迎える創立90周年には36,000tへの拡大を目指します。20階建てのビル1棟が約6,000tですから、規模の大きさを想像してみてください。

2020年東京オリンピック

新国立競技場のメイン施工決定。さらなる飛躍に向け、短納期・低価格・高品質をモットーに技術向上を目指します。

鉄骨製作工場の国土交通省大臣認定グレード

建築基準法の「性能評価」により、国土交通大臣から建築鉄骨の製作工場として最高ランクのS(スーパー)グレードの認定を受けました。

藤木鉄工株式会社

本社 / 〒950-0087
新潟県新潟市中央区東大通1丁目2-23 北陸ビル5階
東港工場 / 〒957-0101
新潟県北蒲原郡聖籠町東港3丁目2265-6
TEL.025-256-2111(代表) FAX.025-256-2377

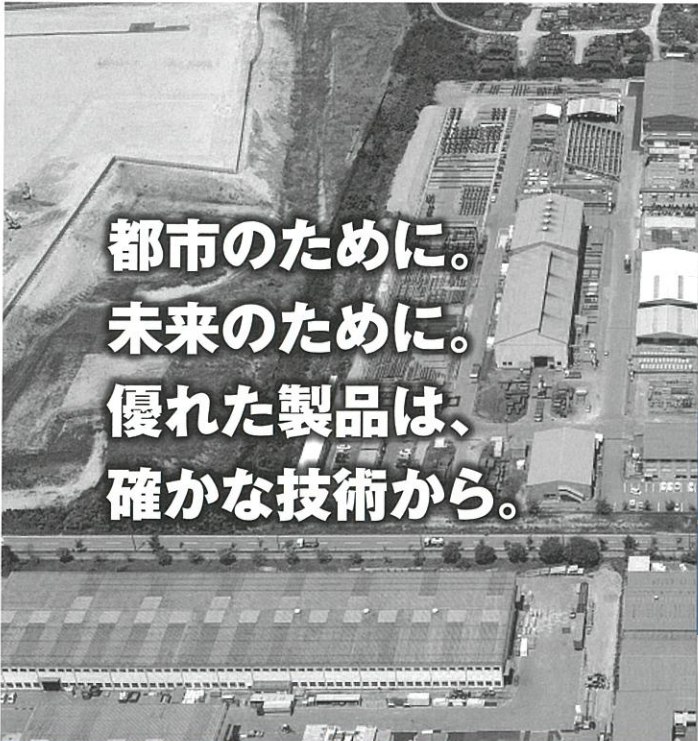
<http://www.fujiki-t.co.jp/>

FUJIKI CORPORATION

入社案内

モノじゃなく明日を創る。

 藤木鉄工株式会社



都市のために。
未来のために。
優れた製品は、
確かな技術から。

「鉄骨」が構造物を支える。

■「高品質」の製品を「短納期」で提供する一貫生産体制

01

施主

建物などの建造物を発注

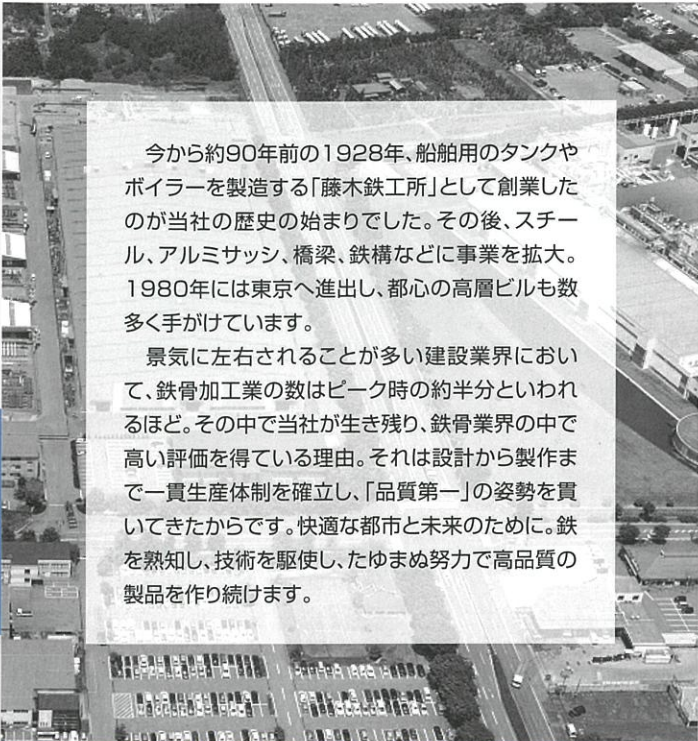
02

設計事務所

施主の依頼を受け、
建造物全体のデザインを決める

有名建築物の実績も多い鉄構部門

ビルや工場など、建物の重要な基礎構造である「鉄骨」を製作する鉄構部門。鉄骨構造はすぐれた耐震性や工期の短さから、近年は鉄筋コンクリートよりも多く利用されている注目の部材です。主な実績は、新潟日報メディアシップ、朱鷺メッセ、東京スカイツリー（東京ソラマチ）など。設計事務所との打ち合わせから図面作成、製造、検査、納入まで自社で一貫して行い、対応力でもお客様から信頼をいただいています。当社だからこそ可能な大型案件も幅広く受注。今後さらなる拡大が期待されています。



今から約90年前の1928年、船舶用のタンクやボイラーを製造する「藤木鉄工所」として創業したのが当社の歴史の始まりでした。その後、スチール、アルミサッシ、橋梁、鉄構などに事業を拡大。1980年には東京へ進出し、都心の高層ビルも数多く手がけています。

景気に左右されることが多い建設業界において、鉄骨加工業の数はピーク時の約半分といわれるほど。その中で当社が生き残り、鉄骨業界の中で高い評価を得ている理由。それは設計から製作まで一貫生産体制を確立し、「品質第一」の姿勢を貫いてきたからです。快適な都市と未来のために。鉄を熟知し、技術を駆使し、たゆまぬ努力で高品質の製品を作り続けます。

重要なポジションを担う藤木鉄工。

04

専門業者

その一つが当社が担当する
「鉄骨加工業」

図面設計から建て方までをトータルで担当

03

総合建設会社
(ゼネコン)

図面をもとに
各専門業者へ製作を依頼

公共工事を安定受注する橋梁部門

橋梁部門では、道路橋、鉄道橋、水路橋、横断歩道橋などの「橋梁」を製作する橋梁部門。全長30mの小さな橋や500mを超える大型橋梁、S字カーブ、アーチ型など大きさやデザインも様々です。当社の強みである自社一貫生産体制を確立し、県や市の公共工事を安定的に受注。質の高い工事業者に贈られる「新潟県優良工事表彰」も4年連続で受賞しています。新規の案件だけでなく、古くなった橋のメンテナンスにも早くから注目。専門部署を設け、時代を先取りした橋梁補修事業にも積極的に取り組んでいます。

この仕事は、2次元を3次元にする おもしろさがある

建築用鉄骨の工作図の作成とまとめ、工程やコストの管理をしています。設計者や施工業者を交えて打ち合わせを行い、最終的な図面をまとめるのですが、その後の工程や品質にも影響を与える重要な仕事です。

今まで携わった案件は、新潟競馬場、新潟市民病院、銀座のテナントビルなど。個人的には東京恵比寿にある「スバルビル」が印象に残ってますね。免震装置、制震装置などを多く盛り込んだ建物で、とてもやりがいがありました。

当社の魅力は2次元の図面を3次元にする「モノづくりのおもしろさ」を味わえること。そのための技術力も一流だと思います。



五十嵐 浩

鉄構技術2課 課長代理
1994年入社

Technical capabilities

設計力

製造工程

設計
CAD
現寸

切断
孔明け

組立・溶接
工程内検査

最終検査

塗装

輸送

建て方
架設

鉄骨製作を導く設計部門

設計事務所が作成した図面だけでは、実際の鉄骨を作ることはできません。そのために工場で鉄骨を製作するのに必要な図面「鉄骨加工図」を作成します。そこで鉄骨の具体的な位置、寸法、数量などを決め、詳細な図面を書き起すのが設計の仕事です。入社1～5年目はCADでの作図業務や図面チェック、その後は設計事務所や施工業者との打ち合わせを重ねて全体の計画を決めたり、工場製作担当者への指示なども行います。鉄骨製作の全体をコントロールするやりがいのある仕事です。

Technical capabilities

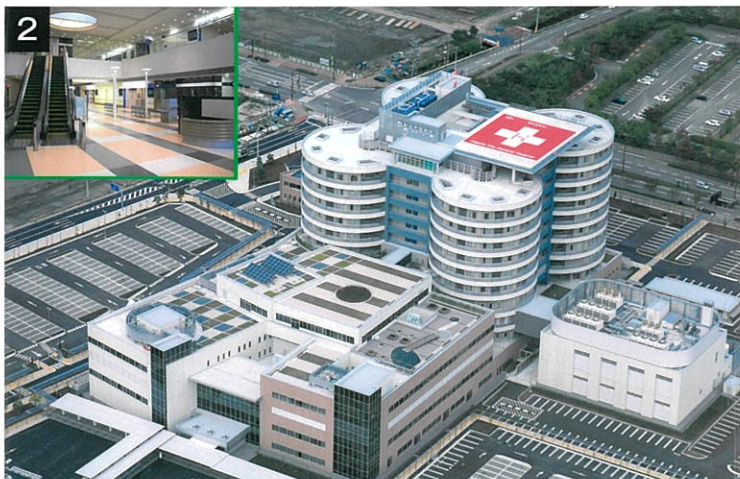
製造力

平面をカタチにする製造部門

鉄骨加工図や工事計画に基づき、決められた鉄骨を製作します。まずは製鉄会社から入ってきた材料を切断・孔明け及び組立し、最新のロボット溶接機や職人の手作業により溶接して接合します。寸法計測、各種検査、最終検査、塗装などを経て現場に納入されます。当社の製品は、多くの人々が利用する高層ビルや橋梁を支える重要な部材。品質に一切の妥協はありません。その上で納期を遵守し計画的に作業を進める、「プロの仕事」を実践しています。

PROJECT

- 1 すみだ水族館(東京都)
- 2 新潟市民病院
- 3 横浜ランドマークタワー(横浜市)
- 4 大宮橋(東京都伊豆大島)
- 5 八海橋
- 6 新潟日報メディアシップ
- 7 イオン新潟南
- 8 新潟駅南口ペDESTリアンデッキ



地域のライフラインとしての 橋を作る責任と誇り

橋梁の製作管理を担当しています。工程の段取りや品質の管理など、いわば工場全体をディレクションする立場ですね。納期や品質はもちろん安全第一で工場を管理することを心がけています。

私が最も印象的だった仕事は、新潟市の秋葉区と南区を結ぶ「白井橋」です。全長500m超という当社最大規模の橋梁でした。管理も大変でしたが、計画どおり製作・出荷できた時は大きな達成感がありました。橋梁は、その地域の人々にとっては重要なライフラインです。自分の作った橋が何十年と残り、人々の生活を支えていく。改めてこの仕事に誇りを感じますね。



石井 健一

製造課 課長代理
1994年入社

